

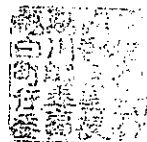
収受年月日	議 長	事務局長	書 記
6.11.29			
第 95 号			

令和 6 年 11 月 29 日

埴町議会議長 鈴木 孝則 様



予算決算常任委員会委員長 七 宮 広 樹



所 管 事 務 調 査 報 告 書

本委員会は、所管事務の調査を下記のとおり実施したので、埴町議会会議規則第 77 条の規定により報告する。

記

1 調査事件 埴町振興計画について

2 調査の経過

本委員会は、令和 7 年度から令和 9 年度を計画期間とする埴町振興計画について調査した。

調査日 令和 6 年 11 月 28 日 (木)

出席委員 予算決算常任委員 12 人

説明員 町長、教育長及び各機関の説明委任者

職務出席者 議長、議会事務局長、書記

場所 議場

3 調査の結果

(1) 結果

計画期間の歳入歳出見込み額は、次の表のとおりである。(単位百万円)
なお、令和 9 年度末財政調整基金の額は、435 百万円とのことである。

見 込 額	7 年度	8 年度	9 年度
歳 入	5,622	5,684	5,201
歳 出	5,622	5,684	5,201
財政調整基金残高	606	503	435

個別事業計画について、説明員から概要説明を受け計画案全般を了承としたが、事業継続の必要性や対象者の見直し等を十分精査した上で、効率的効果的な行政運営ができる予算計上を望む。

(2) 主な質疑

質：公民館・地区館・分館 LED 照明設備リースだが、買取リースにするのかどうか。どのように計画しているのか伺う。

答：リース料を 10 年契約で考えている。期間終了後は、無償で受け取ることができるという内容である。

質：高齢者基幹施設整備事業は、どのような基幹施設を考えているのか。

答：具体的にはこれから検討ということになる。現在の構想では、社会福祉協議会、シルバー人材センターの事務局と、高齢者の体力向上、健康維持相談窓口、簡単な器具など置けるホール等、高齢者支援機能を十分に備えた形での高齢者支援基幹施設、ケアハウスも含めて検討していきたいと思っている。

質：デジタル田園都市国家構想交付金事業。地域経済活性化事業業務委託について、委託先はどこか。

答：埴町観光協会と一般財団法人宿泊施設活性化機構の 2 団体で構成する埴町地域創生事業推進協議会を 10 月に結成し、そちらに委託する。

質：デマンド交通だが、中山間地をもう少し考えていった方がいいのではないか。

答：当面先行投資が少ない役場の公用車を使って運転手をお願いし、どのような組み合わせにするのかを考えながら、中山間地については、デマンド交通で予約を取ってお迎えに行くようなシステムをつくりたいと考え計画したところである。

質：高齢者外出支援タクシー料金助成事業だが、平坦地・山間地に住んでいる方、同一金額だと不公平感があるのではないか。

答：デマンド交通や既存のバスなど、いろいろなものを組み合わせて交通弱者を救っていこうと考えている。タクシー事業については、サービスの公平性、どこに住んでいても同じ金額の補助を受けられるということ。令和 7 年度から 1.5 倍で積算している

質問：1 人当たり 2 万円のエール券、公約として掲げて、計画の令和 9 年度までには記載がないが、なくていいものなのか、逆に計画に入れられないのか。

答：計画をしているが実施時期が今定まっていないので、振興計画には記載していないが、今政府で支援策の中に盛り込みがあるという可能性が高いので、いつでも実施できるように準備を進めている段階。

質：道路整備事業・町道北野松岡線について、令和 8 年度で終わると理解していたが、令和 9 年度にずれ込むのか。

答：JR の踏切工事、精算の関係で令和 9 年度にずれ込むが、令和 9 年度の 4 月早々に開通する計画である。